

記者発表（資料配付）				
月／日（曜日） 時間	担当課・係	TEL	発表者名 （担当班長名）	その他配布先
11月15日（金）	文化財課 文化財班	（内線）5761 （外線）078-362-3783	課長 山下 史朗 （甲斐 昭光）	文化庁・神戸 市・播磨町

## 文化財建造物の登録（国登録有形文化財）

### 1. 発表概要

国の文化審議会（会長<sup>さとうまこと</sup>佐藤 信）は、令和元年11月15日（金）開催の同審議会文化財分科会の審議・議決を経て、新たに133件の建造物を登録するよう文部科学大臣に答申を行う予定です。兵庫県内の建造物（10件）の概要について発表します。

### 2. 答申される登録候補物件（10件3箇所）

- |                                             |       |    |
|---------------------------------------------|-------|----|
| （1）甲南女子中学校・高等学校管理棟・特別棟・体育館・<br>体育研究室・講堂・守衛室 | （神戸市） | 6件 |
| （2）旧駒ヶ林公会堂                                  | （神戸市） | 1件 |
| （3）梅谷家住宅主屋・離れ・北塀及び西塀                        | （播磨町） | 3件 |

## 文化財（国登録有形文化財）の登録

登録される文化財建造物の概要は以下のとおりです。（※下線は用語解説あり）

### ■今回答申される文化財建造物（兵庫県分）10件・3箇所

#### （1）甲南女子中学校・高等学校

（こうなんじょしちゅうがっこう・こうとうがっこう） 6棟

所在地：兵庫県神戸市東灘区森北町五丁目4他

特徴等：甲南女子中学校・高等学校のキャンパスは、平成31年3月に登録した甲南女子大学の東隣に位置する。6件とも設計は村野藤吾（むらのとうご）、施工は大林組で、昭和39年建築の甲南女子大学と同じ。管理棟はキャンパスの中央に位置し、村野によるキャンパス計画の中心をなす。特別棟は鉄筋コンクリート造4階建ての校舎で、様々な工夫で立面に変化を付けている。体育館は鉄骨造2階建てで、大梁を対角に架けて47mの大スパンを確保し、架構を活かした迫力ある空間をつくる。体育研究室は1階をピロティ、二階を凸型の平面とし、軽快なつくりをしている。講堂は六角形平面の南に台形を突き出し座席とする。外観は斜めに立ち上がる壁面に入り組んだ屋根をかけた複雑な形状。守衛室は正門脇に設けられた平屋建ての建物。小規模ながら細部まで意匠的配慮が行き届いている。

#### （2）旧駒ヶ林公会堂（きゅうこまがばやしこうかいどう） 1棟

所在地：兵庫県神戸市長田区駒ヶ林町五丁目51-2

特徴等：旧駒ヶ林公会堂は、煉瓦造（れんがぞう）2階建てで、装飾性を抑えた外観とする。用途を変えながら利用され、地域のランドマークとして親しまれている。昭和6年に神戸市に寄付され、戦時託児所や保育所として使用していた。

#### （3）梅谷家住宅（うめたにけじゅうたく） 3棟

所在地：兵庫県加古郡播磨町宮北一丁目408-5

特徴等：梅谷家は代々庄屋（しょうや）を務めた家柄で、昭和13年頃に子供の小学校通学用の別宅として、当地に主屋を建てた。洋室の書斎を持つなど、別宅に必要な機能をまとめた住宅。離れは主屋の西側に建っている。良材を駆使した上質な離れ。北塀及び西塀は敷地の北面と西面を囲む塀で、宅地外周部の景観を形成している。

## ■答申が行われる建造物の概要

<全国>

	新規登録	累計
登録数	133件	12,590件
関係市町村	40市町村(区)	954市町村(区)
関係都道府県	22都道府県	47都道府県

<兵庫県>

	新規登録	累計
登録数	10件(3箇所)	702件(208箇所)
関係市町村	2市町	32市町

**※今回、播磨町から梅谷家住宅が初登録。**

### 甲南女子中学校・高等学校(こうなんじょしちゅうがっこう・こうとうがっこう) 6棟

**名称：甲南女子中学校・高等学校管理棟**(こうなんじょしちゅうがっこう・こうとうがっこうかんりとう)

**所在地：**兵庫県神戸市東灘区森北町五丁目4他

**年代：**昭和43年

**登録基準：**一 国土の歴史的景観に寄与しているもの

**特徴・評価：**甲南女子大学東隣のキャンパス中央に建つ。鉄筋コンクリート造二階建、一階中央部をピロティとして車路を通し、車路の東を主玄関とする。玄関から特別棟へは、回廊をつくり教職員と生徒の動線を巧みに分離する。村野藤吾によるキャンパス計画の中心をなす。

**備考(調査等)：**建築年代は登記簿による。設計は村野藤吾、施工は大林組。平成2年に棟の南西側を増築した(登録範囲外)。

**名称：甲南女子中学校・高等学校特別棟**(こうなんじょしちゅうがっこう・こうとうがっこうとくべつとう)

**所在地：**兵庫県神戸市東灘区森北町五丁目4他

**年代：**昭和43年/平成24年改修

**登録基準：**一 国土の歴史的景観に寄与しているもの

**特徴・評価：**管理棟の東側に接続して建つ鉄筋コンクリート造四階建の校舎。同一形状の窓が並ぶ立面だが、西側の窓は上下で窓の横幅を変えて凸字型にし、中央部に水平庇を突き出し、両端の外階段のバルコニー腰壁は煉瓦積とするなど、立面に変化を付ける。

**備考(調査等)：**建築年代は登記簿による。設計は村野藤吾、施工は大林組。当初は三階建の棟が北側に雁行し、さらに桁行約60メートル延びていたが、平成24年に解体された。

名称：甲南女子中学校・高等学校体育館（こうなんじょしちゅうがっこう・こうとうがっこうたいいくかん）

所在地：兵庫県神戸市東灘区森北町五丁目4他

年代：昭和43年

登録基準：一 国土の歴史的景観に寄与しているもの

特徴・評価：管理棟の西端北側に建つ体育館。鉄骨造二階建てで、一階は中廊下で食堂、卓球場を配し、二階は一室とする。矩形平面の四隅に2本ずつ対をなす鋼管柱を8本立て、大梁を対角に架けて47メートルの大スパンを確保し、軽快な架構を構成する。

備考（調査等）：建築年代は登記簿による。設計は村野藤吾、施工は大林組。

名称：甲南女子中学校・高等学校体育研究室（こうなんじょしちゅうがっこう・こうとうがっこうたいいくけんきゅうしつ）

所在地：兵庫県神戸市東灘区森北町五丁目4他

年代：昭和43年

登録基準：一 国土の歴史的景観に寄与しているもの

特徴・評価：体育館の南西隅に接続する鉄骨造二階建ての建物。一階をピロティとし、二階は凸型の平面とする。ピロティの柱はセメント板で被覆した末広りの角柱とし、二階の連続窓の上に薄い庇を張出し、細い螺旋階段で昇降する軽快なつくりの建物とする。

備考（調査等）：建築年代は登記簿による。設計は村野藤吾、施工は大林組。

名称：甲南女子中学校・高等学校講堂（こうなんじょしちゅうがっこう・こうとうがっこうこうどう）

所在地：兵庫県神戸市東灘区森北町五丁目4他

年代：昭和43年

登録基準：二 造形の規範となっているもの

特徴・評価：管理棟の南側斜面に建つ講堂。六角形平面の北を舞台とし南を台形に突出させて座席とする。平面に対応して屋根を小割にし、その軒を薄くして軽快感を強調している。室内は天井や壁の出隅に曲線を多用する有機的な設えとし、村野藤吾の造形的特徴を伺わせる。

備考（調査等）：建築年代は登記簿、『新建築第44巻第2号』（1969）による。設計は村野藤吾、施工は大林組。

名称：甲南女子中学校・高等学校守衛室（こうなんじょしちゅうがっこう・こうとうがっこうしゅえいしつ）

所在地：兵庫県神戸市東灘区森北町五丁目4他

年代：昭和43年

登録基準：一 国土の歴史的景観に寄与しているもの

特徴・評価：キャンパス南側の正門脇に設けられた守衛室。平屋建てで、コンクリート

ロック壁に木造の宝形を組合わせた屋根を架ける。矩折れに取付く出窓や、煉瓦を二段带状に積込んだブロック積の壁体など、小規模ながらも細部まで意匠的配慮が行き届いた造形である。

**備考（調査等）**：建築年代は登記簿による。設計は村野藤吾、施工は大林組。

### 旧 駒ヶ林 公会堂（きゅうこまがばやしこうかいどう） 1棟

**名 称**：旧駒ヶ林公会堂（きゅうこまがばやしこうかいどう）

**所在地**：兵庫県神戸市長田区駒ヶ林町五丁目 51- 2

**年 代**：大正13年頃／昭和44年・平成19年改修

**登録基準**：一 国土の歴史的景観に寄与しているもの

**特徴・評価**：長田港海岸線に平行する市道沿いに建つ公会堂。二階建て、外壁は煉瓦造、内部の柱、梁、スラブは鉄筋コンクリート造とする。左右対称のファサードに縦長窓を配し、装飾性を抑えた外観とする。用途を変えながら利用され、地域のランドマークとして親しまれる。

**備考（調査等）**：建築年代は伝聞による。設計は神戸市営繕課長だった清水栄二。昭和6年神戸市に寄付され、戦時託児所や保育所として使用。平成25年の保育所廃止以後、イベント等に活用。

### 梅 谷 家 住 宅（うめたにけじゅうたく） 3棟

**名 称**：梅谷家住宅主屋（うめたにけじゅうたくおもや）

**所在地**：兵庫県加古郡播磨町宮北一丁目408- 5

**年 代**：昭和13年頃

**登録基準**：一 国土の歴史的景観に寄与しているもの

**特徴・評価**：喜瀬川右岸の小学校前に子供の通学用の別宅として建てた。敷地北東に建つ木造平屋建てで、寄棟造と入母屋造を組み合わせた屋根をかける。北東端に玄関を配し、南に書斎と居間を並べる。書斎は洋室で漆喰塗天井にシャンデリアを吊る。別宅の必要機能をまとめた住宅。

**備考（調査等）**：建築年代は家伝による。梅谷家は代々庄屋を務めた旧家で、建築時は農地、塩田、山林を所有する大地主であった。現在、書斎と居間は洋室であるが、西の居間は当初は八畳と六畳の和室であった。

**名 称**：梅谷家住宅離れ（うめたにけじゅうたくはなれ）

**所在地**：兵庫県加古郡播磨町宮北一丁目408- 5

**年 代**：昭和14年頃／昭和40年代改修

**登録基準**：一 国土の歴史的景観に寄与しているもの

**特徴・評価**：主屋の西側に建つ木造二階建て、入母屋造 棧瓦葺で、外壁を焼杉の縦板張とする。一階は床、棚、付書院を備えた八畳の主座敷と六畳の座敷の南に広縁を付し、北に茶室を配す。二階は座敷が三室で南に縁を付す。良材を駆使した上質な離れ。

備考（調査等）：建築年代は家伝による。昭和40年代に一部を茶室、水屋などに改修した。

名 称：**梅谷家住宅北塀及び西塀**（うめたにけじゅうたくきたべいおよびにしべい）

所在地：兵庫県加古郡播磨町宮北一丁目408-5

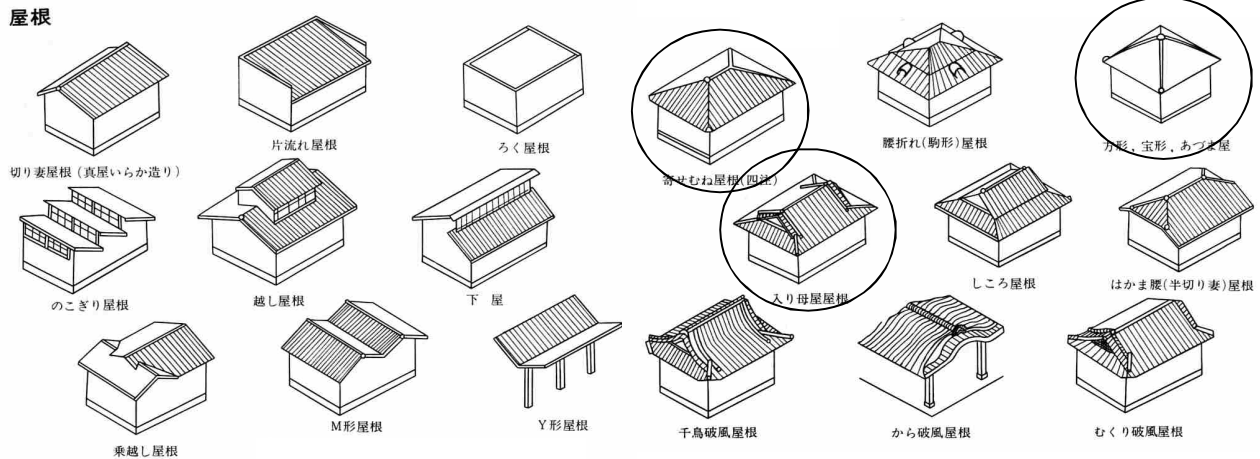
年 代：昭和前期

登録基準：一 国土の歴史的景観に寄与しているもの

特徴・評価：敷地北面と西面を囲む塀で、北塀の中央付近に木戸を開く。半間おきに柱を立て腕木で桁を支え、屋根は棧瓦で葺く。外側は焼杉の縦板張で上部を真壁漆喰塗とし、内側は北塀が真壁漆喰塗、西塀が縦板張で、石製の支柱で支持する。宅地外周部の景観を形成する。

備考（調査等）：建築年代は主屋、離れと同時期と推定。

屋根



1 甲南女子中学校・高等学校

■村野藤吾(むらのとうご)  
(1891 - 1984)

建築家。1918年早稲田大学卒業。大阪の渡辺節建築事務所を経て、29年に独立。以後、一つのスタイルにこだわらず、自由な造形活動を行なった。日本芸術院会員、日本建築家協会会長、イギリス王立建築学会名誉会員、アメリカ建築家協会名誉会員。文化勲章(1967)その他多くの賞を受賞。主な作品に広島世界平和記念聖堂(53)、大阪新歌舞伎座(58)、横浜市庁舎(59)、京都都ホテル佳水園(59)、早稲田大学文学部校舎(62)、日本生命日比谷ビル(63)、宝塚カトリック教会(67)、兵庫県立近代美術館(70)、日本ルーテル神学大学(70)、箱根プリンスホテル(78)、新高輪プリンスホテル(82)などがある。  
県内では、2003年に尼崎市立大庄公民館(旧大庄村役場)(尼崎市)(37)が国の登録文化財として登録。

■ピロティ

独立柱または壁のみで構成された吹き放しの空間。建物の二階以上に室を設け、一階は柱を残して吹きさらしにしておく建築様式は、コルビュジェの提唱。

■中廊下(なかろうか)

両側に部屋などの配置された廊下。

■宝形造(ほうぎょうづくり) →上図

四方に傾斜をもち、棟が1点に集まる屋根。

■矩折れ(かねおれ)

直角に折れた状態。

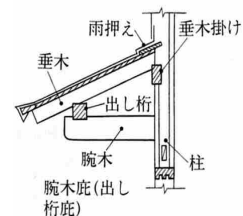
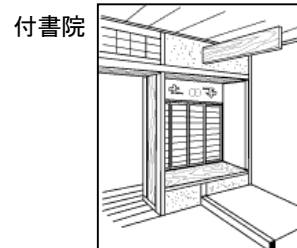
2 旧駒ヶ林公会堂

■スラブ  
■ファサード  
■清水栄二  
(1895~1964)

床の荷重を支える鉄筋コンクリート造の板。  
建物の正面  
武庫郡六甲村出身。大正7年に東京帝国大学建築学科を卒業後、民間会社を経て神戸市の建築技師となり、多くの公共建築を手がけた。大正15(1926)年に退職した後、清水建築事務所事務所を開設した。主な建築は以下のとおり。旧西尻池公会堂 1926/旧神戸市立生糸検査所 1927/魚崎小学校 1929/御影公会堂 1933/旧魚崎町庁舎 1937

### 3 梅谷家住宅

- 寄棟造 (よせむねづくり)→先頭頁図  
大棟と四つの棟をもつ屋根形式、あるいはその屋根をもった建物形式。四注屋根ともいう。
- 入母屋造(いりもやづくり) →先頭頁図  
寄棟と切妻の結合した屋根形式。
- 漆喰塗(しっくいぬり)  
消石灰に砂・糊・すさ等を混ぜて水で練った材料(漆喰)を塗ったもの。
- 棧瓦葺 (さんがわらぶき)  
本瓦葺の丸瓦と平瓦を一つにした棧瓦を使った葺き方。葺上げたとき、勾配の下方になる一隅(重ね部)に切込みがある。
- 付書院 (つけしょいん)  
→右図  
書院造りの床の間から直角に縁側に張り出して設けられた装飾的な出窓。
- 広縁(ひろえん)  
■水屋(みずや)  
奥行き深い縁側。  
水屋とは、茶室の隣にあって、茶事用の用意をするための小部屋、あるいは給水や流しの設備のあるコーナーをいう。
- 腕木(うでぎ)  
→右図  
一端が壁や柱に取り付き、他端は持放しになって上部の荷重をささえるもの。
- 真壁(しんかべ)  
土壁が柱面より少し引込むように塗り上げたもので、柱が外面に向き出しになっている壁。構造部の木材が空気に触れるため、温湿度が調整しやすく、家の耐久性がよいとされる。





## 兵庫県为国登録有形文化財 件数・箇所数

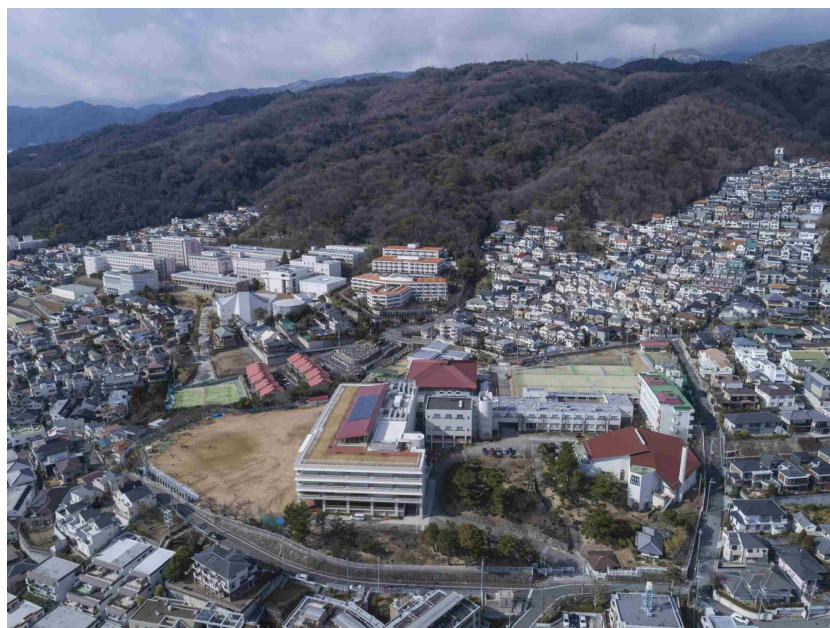
令和元年11月15日 答申まで

No.	市町名	件数			箇所数		
		登録件数	抹消件数	現在件数	登録箇所数	抹消数	現在数
1	豊岡市	108	1	107	22	1	21
2	<b>神戸市</b>	118	15	<b>103</b>	62	6	<b>56</b>
3	姫路市	62	1	61	14	1	13
4	朝来市	53	9	44	12	1	11
5	尼崎市	42		42	10		10
6	加古川市	36		36	8		8
7	篠山市	32		32	5		5
8	三木市	32		32	5		5
9	川西市	28		28	5		5
10	猪名川町	28		28	2		2
11	丹波市	18		18	6		6
12	宝塚市	18	1	17	10	1	9
13	西宮市	21	5	16	7	1	6
14	加東市	16		16	4		4
15	加西市	20	6	14	6	1	5
16	たつの市	12		12	4		4
17	西脇市	12		12	2		2
18	南あわじ市	11		11	3		3
19	洲本市	11		11	2		2
20	高砂市	10		10	8		8
21	佐用町	9		9	1		1
22	明石市	7		7	6		6
23	芦屋市	6		6	4		4
24	福崎町	5		5	2		2
25	新温泉町	5		5	1		1
26	香美町	4		4	1		1
27	神河町	4		4	1		1
28	三田市	3		3	2		2
29	多可町	3		3	2		2
30	<b>播磨町</b>	3		<b>3</b>	1		<b>1</b>
31	太子町	2		2	1		1
32	淡路市	1		1	1		1
合計		740	38	<b>702</b>	220	12	<b>208</b>

※ゴチックは今回関係市

都道府県別登録有形文化財(建造物)登録数 11月15日答申分含む

都道府県	登録数	都道府県	登録数
大阪	757	福島	228
<b>兵庫</b>	<b>702</b>	島根	203
京都	579	秋田	201
長野	553	徳島	198
愛知	525	福井	196
新潟	506	山形	186
滋賀	438	埼玉	179
香川	411	熊本	172
東京	402	宮城	170
群馬	336	福岡	168
岡山	330	北海道	150
茨城	296	山梨	142
奈良	292	富山	141
千葉	285	愛媛	136
高知	278	長崎	128
広島	273	鹿児島	120
三重	271	佐賀	110
石川	270	青森	103
神奈川	267	宮崎	102
和歌山	266	山口	101
静岡	265	岩手	92
岐阜	264	沖縄	82
栃木	247	2県にまたがる物件	-2
鳥取	241	合計	12,590
大分	230		



01 甲南女子中・高 キャンパス全景(南面)



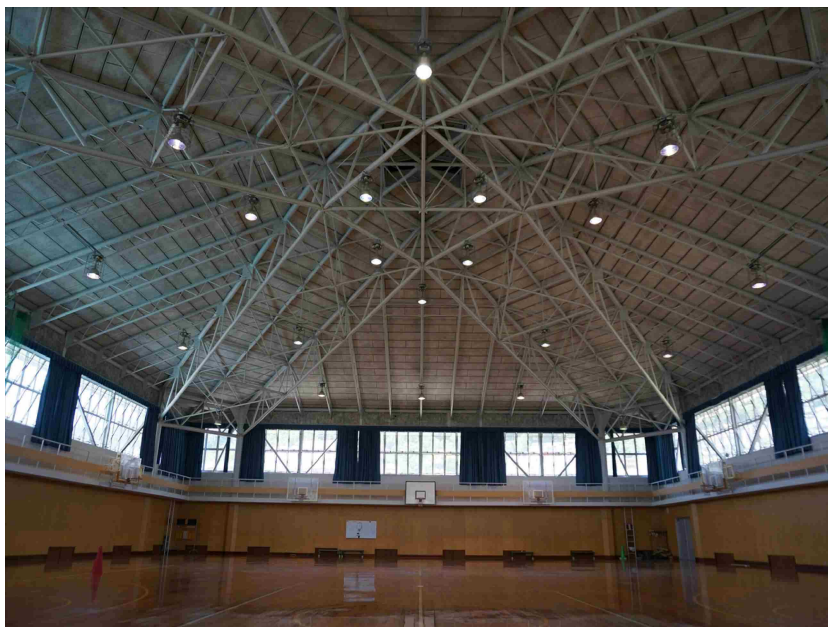
02 甲南女子中・高 管理棟正面南面



03 甲南女子中・高 特別棟



04 甲南女子中・高 体育館外観



05 甲南女子中・高 体育館内部

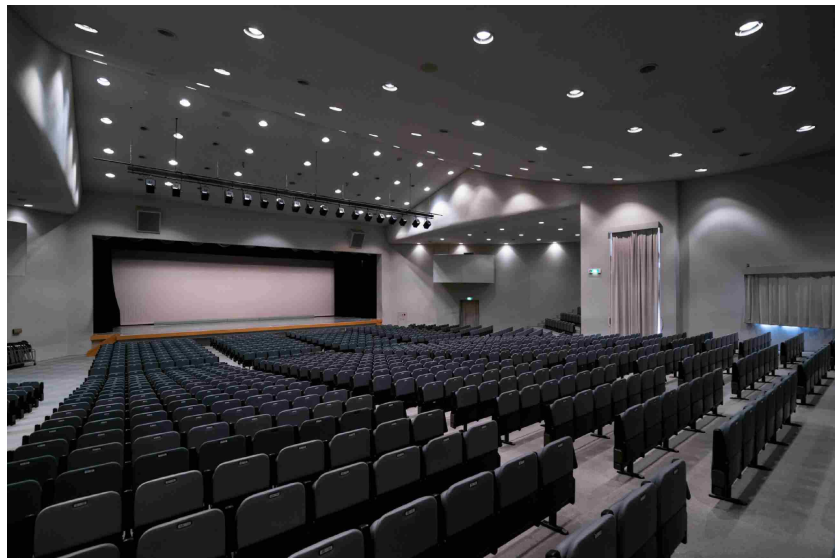


06 甲南女子中・高 体育研究室南西面

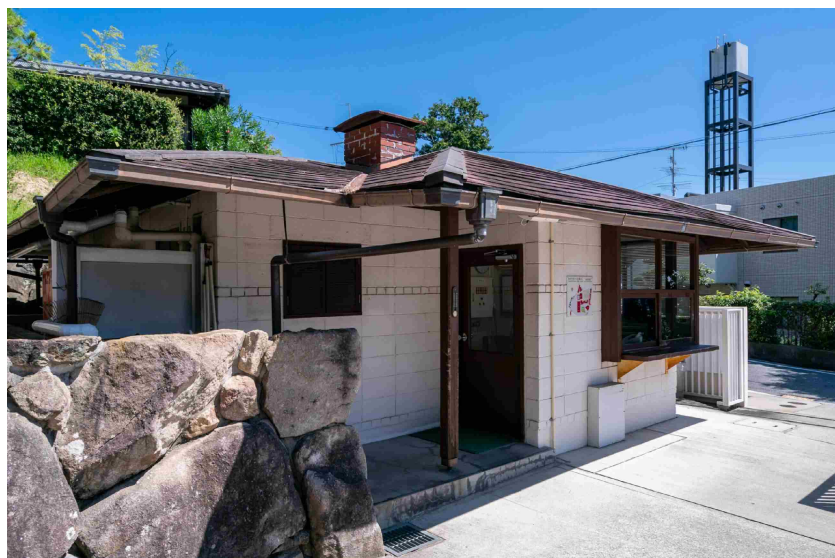




07 甲南女子中・高 講堂全景



08 甲南女子中・高講堂内部



09 甲南女子中・高 守衛室北西面



01旧駒ヶ林公会堂 南側外観



02旧駒ヶ林公会堂 南東外観



03旧駒ヶ林公会堂 遊戯室内観2





01梅谷家住宅 主屋外観(南側)



02梅谷家住宅 主屋外観(北側)



03梅谷家住宅 離れ外観(南側)